

整数（位の数）の問題 ③（きかれ方）

なまえ _____

きかれているものに直して答える

ひづけ _____

「きかれていること」に線を引こう。x、yを求めたら、きかれているものに直して答えよう。

- ① 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は6です。
十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より36大きくなります。
入れかえてできる数を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

① きかれているのは (_____) ② x は (_____) y は (_____)

x、y の値から、きかれているものに直して 答え (_____)

- ② 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は15です。位を入れかえてできる数は、もとの数より9小さくなります。もとの数と入れかえてできる数の和を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

① きかれているのは (_____) ② x は (_____) y は (_____)

x、y の値から、きかれているものに直して 答え (_____)

- ③ 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は12です。位を入れかえてできる数は、もとの数より36小さくなります。もとの数の一の位の数を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

① きかれているのは (_____) ② x は (_____) y は (_____)

x、y の値から、きかれているものに直して 答え (_____)



整数（位の数）の問題 ③（きかれ方）【こたえ】

なまえ _____

こたえ・考え方・先生へ

ひづけ _____

① 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & \quad x+y=6 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=36 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=4 \\ ①-② & \quad 2x=2 \\ x & =1 \\ y & =5 \end{aligned}$$

きかれているのは 入れかえてできる数

確かめ 位の数の和 $1+5=6$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 5 + 1) - (10 \times 1 + 5) = 36$

答え 入れかえてできる数は、 $10y+x=10 \times 5 + 1 = 51$

考え方 $x=1$ 、 $y=5$ はもとの数15の位の数。聞かれているのは入れかえた数 $10y+x$ なので51。

② 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & \quad x+y=15 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=-9 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=-1 \\ ①-② & \quad 2x=16 \\ x & =8 \\ y & =7 \end{aligned}$$

きかれているのは もとの数と入れかえてできる数の和

確かめ 位の数の和 $8+7=15$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 7 + 8) - (10 \times 8 + 7) = -9$

答え もとの数87、入れかえた数78なので、和は165

考え方 位の数 $x=8$ 、 $y=7$ から、もとの数87と入れかえた数78を作ってから足す。

③ 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & \quad x+y=12 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=-36 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=-4 \\ ①-② & \quad 2x=16 \\ x & =8 \\ y & =4 \end{aligned}$$

きかれているのは もとの数の一の位の数

確かめ 位の数の和 $8+4=12$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 4 + 8) - (10 \times 8 + 4) = -36$

答え 一の位の数は4

考え方 x 、 y は位の数そのもの。聞かれているのは一の位の数なので、 y の値4がそのまま答え。

先生へ

- ・つまずきやすい所: x 、 y を求めたところで安心して、聞かれている入れかえた数・和・一の位の数に直さず、もとの数のまま答えてしまう。
- ・ x 、 y の値を答えに書いていたら、「きかれているのは何か」を問題文で指さしさせる。 $x=\cdots$ 、 $y=\cdots$ のあと、きかれているものに直す一行を書かせる。
- ・答え面は加減法の解き方。代入法でも、等しい関係を2本の式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(x と y は文字で見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。